

子どもへの声かけ

ドラマ等で、お父さんやお母さんが子どもへ声をかける台詞として、「宿題をやったの？」という表現があります。同じような声かけをお子さんにしていませんか？

学校から宿題が出される時は、授業で扱った内容の復習や更に調べや復習が必要と思われる際に出されることが主となります。

一方、文部科学省は、学習指導要領の中で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めています。

そこで、「宿題をやったの？」から、「今日は、家でどのような勉強をしようと思っているの？」と『自ら学び』を後押しするような声かけにしていただけると助かります。宿題以外で行う勉強は何でもよいと考えています。本人が興味をもったことに積極的に取り組んでもらいたいと思います。

学校では、子どもが興味をもっているような種（事柄）をたくさん蒔いていきます。

